



これまでの小松庵

大正 11 年東京駒込に小松庵は生まれました。創業者は小松鶴一。出前が中心の蕎麦屋。うどんやラーメンなども商っていました。そんな夫婦二人ではじめた店を頼って、しだいに同郷の新潟からたくさんのお客が働きだしました。そして、のれん分け独立して店を持っていきました。土地を買いビルを建てるが当たり前、良い時代でした。「肝っ玉かあさん」という蕎麦屋を舞台にした、テレビ番組が放送されていたのもちょうどその頃です。

1970 年、万博の年。日本にファミレスができます。しだいに蕎麦屋をとりまく環境が変わります。ちょうどその頃、小松庵は蕎麦の専門化と多店舗化へと歩みます。「世の中の変化を見越した」わけではなく。たまたまです。ただ、誰もが持っている「うまいものだせ」と「びっくりさせる」などの気持ちは、人一倍強かったかも知れません。「うまいものだせ」は、その後、手打ち蕎麦、自家製粉、職人のための学校「蕎麦学舎」と受け継がれています。今ではイタリアンや、フレンチ、和食などのシェフとも勉強会をしています。さて、「びっくりさせる」は、駒込ではじめてテレビを導入したことにも表れています。当時は、さながら映画館のようだったと伝わっています。現在、スカイツリーソラマチ店では、江戸職人の心意気をと、職人 5 人入る手打ち場で蕎麦を打っています。二子玉川店、駒込本店では、通常壁に用いられる大谷石を床に敷き詰めました。トチノキの自然木と相まって独特の風情をかもしています。本店では、ここでバイオリン、ピアノも演奏されます。新本店は、いままでの集大成です。そして次のステップへのスタートです。

あなたの街の小松庵

- 手打ち蕎麦 小松庵スカイツリーソラマチ店
東京都墨田区押上 1-1-2
TEL03-5809-7203
- 手打ち蕎麦 小松庵丸の内オアゾ店
東京都千代田区丸の内 1-6-4
TEL03-3215-5181
- 手打ち蕎麦 小松庵二子玉川ライズ店
東京都世田谷区玉川 2-21-1
TEL03-5797-9924
- さくら蕎麦 小松庵新宿高島屋店
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-24-2
TEL03-5361-1865
- さくら蕎麦 小松庵渋谷東急東横店
東京都渋谷区渋谷 2-24-1
TEL03-3477-4824

小松庵総本家 駒込本店

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-16

TEL 03-3944-8385



小松庵総本家

駒込本店

駒込六義園 染井門前



蕎学洞ご予約のご案内

コース料理のみのご予約となります。誕生会、ご法事、各種お集まりにご利用下さい。是非ピアニストもご予約下さい、楽しさが倍加します。

お一人様

昼のコース 5,000 円より

夜のコース 7,000 円より

お飲み物別途

ピアノ演奏 1万円

蕎学舎見学 30分 無料

7名様以上室料サービス料いただきません。6名様まで室料サービス料10%申し上げます。消費税別途申し受けます。

その他ご相談下さい



明るい2階席と駒込洞窟 “蕎学洞”

蕎学洞は一日一組限定ご予約席

新しい小松庵へは、二階へと続く大谷石の階段が、アプローチです。左に六義園の染井門を眺めながら登っていただくと、面格子の白いドアがお出迎えます。すこし洋風ですが、ご安心下さい、中身は今まで通り手打ち蕎麦小松庵です。もちろん創業当時の味に対する構えは変わりません。棟つづきには蕎学舎があります。毎朝、鯉節を天日干し。玄蕎麦は、殻をていねいに剥きとり静かに石臼



で製粉しています。出汁にあわせる「かえし」は、およそ10日間熟成させ味に深みをもたせています。職人が蕎麦打ち訓練する道場、蕎麦の保湿冷蔵庫、鯉節の保管庫などもあります。ここでは、江戸前の技術を伝承するばかりでなく、蕎麦の伝統を受け継ぎ、さらなる魅力を発見する場でもあります。

新本店には、ディナーにもお出かけ下さい。蕎麦の新しいおいしさを提案します。コースには返しをソースのベースにしたステーキや、変わり蕎麦をオリーブオイルで召し上がっていただいたり、様々なこころみをしています。

1階は洞窟です。都会の中の洞窟です。ここは、一日一組

の貸し切りのお席、非日常をお楽しみいただけます。蕎麦は不思議な食べ物です。蕎麦をはさんで話し始めると、たがいに心がひらかれとても親しい感情がわいてきます。今宵一夜、ピアノを楽しみ、アナログレコードで、過ぎし日を語りあったりそんな楽しみを味わっていただきたく、あえて洞窟にしました。これが小松庵流の“一期一会”です。開店からこの一年。多くの方々が見え、ここで歌い、フルート、サクソ、ピアノなども演奏していただきました。バイオリンも弾かせていただきました。お孫さんと一緒に歌う姿など、とてもほほえましいものでした。また、思わず目をうるうるさせる場面がたくさんありました。ニューヨークやフィレンツェからソメイヨシノを見学にお見えになったお客様もいらっしゃいます。その一夜のため、分野を越え、お集まりいただいた方々。著名な方々たくさんもいらっしゃいました。しかしここ蕎学洞では、子供に

返ったよう。こんな小松庵での一夜が、いつまでも楽しい思い出として心に残ってほしいと願っています。

